



『スター・ウォーズ／最後のジェダイ』公開記念(2017年12月15日公開)「STARWARS THE LAST JEDI ART SHOW TOKYO」が原宿VACANTにて開催!!

ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)(本社：東京都港区／代表取締役社長ポール・キャンランド)は、12月15日(金)より『スター・ウォーズ／最後のジェダイ』を全国公開いたします。

全人類が待ち望んだ、映画を超えた史上空前のエンターテインメント「スター・ウォーズ」。日本でも社会現象級の大ヒットとなった『スター・ウォーズ／フォースの覚醒』は、全米興行収入ランキング歴代No.1を記録して歴史に名を刻んだ。そしていよいよ、この作品のその後を描いた最新作『スター・ウォーズ／最後のジェダイ』が、12月15日(金)に公開となります。

映画公開を記念して、この度「STAR WARS THE LAST JEDI ART SHOW TOKYO」が開催される運びとなりました。

今回開催する「STAR WARS THE LAST JEDI ART SHOW TOKYO」は、アート、ファッション、日本伝統工芸等さまざまなクリエイションの分野、カルチャーを超越したアートショーです。参加アーティストは、加茂克也氏(ヘアスタイリスト/メイクアップアーティスト)、キム・ソンヘ氏(シャンデリア・アーティスト)、河村康輔氏(コラージュアーティスト/グラフィックデザイナー)、高橋ラムダ氏(ファッション・スタイリスト)、青木良太氏(陶芸家)、USUGROW氏(ペインター/カリグラフィアーティスト)、YOSHIROTTEN氏(グラフィックアーティスト/クリエイティブディレクター/デザイナー)、長場雄氏(イラストレーター)、という日本を代表する気鋭のクリエイター8名です。『スター・ウォーズ／最後のジェダイ』の内容の中心に、それぞれのクリエイターの表現方法で『スター・ウォーズ』にまつわる作品を特別に制作していただきます。

「STAR WARS THE LAST JEDI ART SHOW TOKYO」は、原宿VACANTにて2017年10月7日(土)-10月15日(日)の期間開催されます。また、入場料は無料でご来場いただけます。

STAR WARS THE LAST JEDI ART SHOW TOKYO

VENUE: 原宿VACANT

東京都渋谷区神宮前3-20-13

DATE: 7 OCT (SAT)- 15 OCT (SUN) 12:00 – 19:00

ADDMITION: 無料

ARTIST PROFILE



Katsuya Kamo (加茂克也) ヘア スタイリスト/メイクアップアーティスト

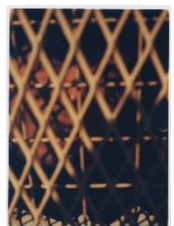
アートさながらの大胆かつ繊細なヘッドピース、羽根やメタルに代表される異素材のコラージュ、またはシンプルでもどこか狂気的なオーラを放つモノクロームのヘアメイクデザイン。クリエイションは常にオリジナリティに溢れ、気が遠くなるようなアナログのプロセスを経て、最終的には誰が見ても美しいと感じるバランスに着地する。混沌と秩序の狭間で美を追求する、その極めて東京的ともいえるセンスは世界のファッションの舞台において比類のないものであり、トップデザイナーやクリエイターとともに、ファッション表現におけるヘアメイクの可能性を広げ続けている。

現在、東京、ニューヨーク、パリの3カ所を拠点に置き、グローバルなフィールドで活動中。



Kim Songhe (キム・ソンヘ) シャンデリア・アーティスト

キム・ソンヘは1982年に在日朝鮮人の三世として東京に生まれた。18歳まで朝鮮学校に通い、その後、織田ファッション専門学校に進学。卒業後作家活動を始め、2005年セレクトショップ「Loveless」にて展示したシャンデリア作品が注目を集めたのを契機にシャンデリア作家として独立。以降、国内外の企業やブランドへの作品提供、空間ディスプレイ、プロダクトデザインを手掛けてきた。2009年には韓国・ソウルのハンガム美術館で開かれた「U.S.B: Emerging Korean Artists in the World 2009」展や、アメリカ・サンフランシスコのSUPERFROG Galleryにて作品展示を行ったほか、2016年には初となる作品集『TROPHY』を刊行。それに合わせ、ラフォーレ原宿で大型展覧会「トロフィー」を開催し、好評を得た。ぬいぐるみやアメリカン・トイ、達磨や招き猫、熊手といったアイテムをコラージュして作られるキムの作品群。「ジャンク・コラージュ」と評されるこうした手法をキムが採用するのは、キムの在日朝鮮人三世という出自と無関係ではない。作品には、常にマイノリティーとして生きてこざるを得なかったキムの多文化主義に対する理想が投影されている。だからこそ彼女の作る作品は一見ごちゃごちゃな「ジャンク」であるようでいて、その世界は奇妙なバランスで均衡を保っているのだ。



Kosuke Kawamura (河村康輔) コラージュ・アーティスト/グラフィック・デザイナー

1979年広島県生。東京在住。ERECT Magazineアートディレクター。

06年、根本敬氏個展『根本敬ほか／入選！ほがらかな毎日』入選。

様々なライブ、イベント等のフライヤーを手掛ける。

雑誌 EYESCRAEM、WEB Designing、TRASH-UP! (根本敬氏と共作で実験アート漫画) を連載中。

美術館、ギャラリー等で個展、グループ展に参加。

サンフランシスコでの個展「TOKYO POP!!」を開催する。

Winston Smithとのコラボレーション作品集「22Idols」、単独作品集「2ND」を刊行。

2011年よりイベント、フェスにて様々なミュージシャンとコラボレーションでライブコラージュを行う。

2012年、スイスのローザンヌで開催されているフェスティバル「LUFF」にて個展を開催。



Lambda Takahashi (高橋ラムダ) ファッション・スタイリスト

2005年より白山春久氏に師事し、08年に独立。スタイリストとしてのキャリアをスタート。白山事務所所属。オリジナリティあふれるスタイリングは国内外問わず支持を集め、雑誌やカタログ、パリコレクションなどその仕事は多岐に渡る。2017年F/Wより自身のブランド「R.M GANG」もローンチ。



Ryota Aoki (青木良太) 陶芸家

1978年富山県生まれ。岐阜県土岐市のスタジオで制作を行う。年間約15,000種類の釉薬の研究を通じて、金、銀、プラチナ等、陶芸では通常扱うことのない素材を使用し、誰も見たことのない美しい作品を生み出し続けている。国内外で年間開催される多数の個展を中心に現代美術のアートフェアにも参加し、他分野とのコラボレーションも行うなど、陶芸の魅力を世界に伝えている。陶芸家を志す学生や若手陶芸家を集めた交流イベント『夏のイケヤン★』等、陶芸界の活性化となる様々な活動やアプローチを積極的に行っている。



Usugrow (薄黒) ペインター/カリグラフィーアーティスト

90年代初頭、パンク、ハードコア等のアンダーグラウンドミュージックシーンで、フライヤー製作からアーティスト活動始める。現在はイラストレーション、カリグラフィ、ミューラルを中心に製作。2005年から国内外にて定期的に個展を開催。

<http://usugrow.com/>

<https://www.instagram.com/usugrow/>



Yoshirotten (ヨシロットン) グラフィックアーティスト/アートディレクター/デザイナー

1983年生まれ。魚座。東京を拠点に、グラフィック、イラストレーション、スカルプチャー、インスタレーション、音楽など、幅広い分野において製作をしている。水たまりに映り込む新しい景色を表現したYOSHIROTTENの作品、PUDDLE (2013) に見られるように、彼の作品にはしばしば、彼の自然そして未来への興味が反映されている。彼の独特なネオサイケを彷彿させるスタイルは、現代の感覚を映し出しながらも未来的である。2013年にCALM & PUNK GALLERYにて個展PUDDLEを開催、翌年にはドイツ、ベルリンにてグループ展As We Collideに参加、その翌年2016年にはロンドンにてソロエキシビジョンFLOATING FUTUREを開催した。グラフィックアーティストとしてインターナショナルに活動する傍、Stevie Wonder、Boyz n the Iz、Tiga、DJ Hell、KOHJなど著名アーティストのアートワーク製作、ファブリックブランドGALAのプロデュース、JAXAとの商品企画などアートディレクターとしても活躍。2016年NIKE Air MAX CONでの作品提供やadidas originalsやHEAD PORTERとのコラボTシャツを発表。また東京とNYCから発信するインディペンデントマガジンPAN MAGAZINEを出版。カバーデザインも手がける。グラフィック、web、映像などを軸にファッション、音楽、空間まで幅広く制作を行う。

<http://www.yoshirotten.com/>



Yu Nagaba (長場雄) イラストレーター

1976年東京生まれ。東京造形大学卒業。アパレルブランドへのデザインワーク提供をはじめ、広告、装丁画、挿画、パッケージデザインなど幅広く活動中。人物の特徴を捉えたシンプルな線画が持ち味で、Instagramに毎日1点作品をアップしている。主な仕事に、雑誌『POPEYE』表紙、SOFTBANK Lineスタンプ、Panasonic web広告、PRONTO カップデザインなどがある。また、キャラクター「かえる先生」の生みの親としても知られている。

©Kazuhiro Shiraishi

『スター・ウォーズ／最後のジェダイ』

2015年に全米興行収入ランキング歴代No.1、日本でも興行収入116億円の大ヒットを記録した『スター・ウォーズ／フォースの覚醒』。

この歴史に名を刻む作品の、その後を描いたシリーズ最新作『スター・ウォーズ／最後のジェダイ』がついに公開！伝説のジェダイ、ルーク・スカイウォーカーとめぐり逢ったレイが知る驚くべき真実とは？なぜカイロ・レンはダース・ベイダーを受け継ぐとするのか？ポー、フィン、BB-8らレジスタンスたちのミッションとは？知られざる秘密が明かされると、さらなる謎が生まれる！12月15日、誰も観たことのない衝撃の「スター・ウォーズ」が、ついにヴェールを脱ぐ！

監督・脚本：ライアン・ジョンソン
配給：ウォルト・ディズニー・ジャパン
Starwars-jp.com/lastjedi

2017年12月15日(金)全国公開
配給：ウォルト・ディズニー・ジャパン

